



鎌 広 第159号
令和5年9月14日

「民主と自治の会」
藤代 政夫 様
渡邊 俊彦 様
戸部 光枝 様

鎌ケ谷市長 芝田 裕美



申し入れ「子宮頸がん（HPV）ワクチン積極勧奨」再開の問題点（回答）

令和5年8月25日付けで申し入れのありましたこのことについて、下記のとおり回答いたします。

記

Q1 鎌ケ谷市におけるHPVワクチン接種対象者数・接種者数・副反応の疑い者数の状況について（キャッチアップ対象者を含めた2011年～2023年7月）

【回答】

対象者数及び接種件数につきましては、別添の表のとおりです。

これまでのところ、HPVワクチン接種後の副反応疑いの報告はありません。

Q2 三つのワクチン（サーバリックス、ガーダシル、シルガード9）の接種件数について

【回答】

3つのワクチンごとの接種件数につきましては、別添の表のとおりです。

Q3 「シルガード9」を使う理由について

【回答】

シルガード9は、令和2年7月に製造販売が承認されて以降、国による調査、議論を経て令和5年4月に予防接種法に基づく定期接種に定められました。予防接種法第3条に市町村は予防接種法に基づく予防接種を定められた期間等を行わなければならないことが定められており、市町村において実施を選択できるものではありません。

Q4 積極勧奨再開時における①安全性に特段懸念がない、②寄り添う体制が十分ということに係る具体的事例について

【回答】

①HPVワクチンの安全性については、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会において、近年の主要なエビデンスを基に検討がされました。これによると、国は、HPVワクチン接種後に生じた症状とHPVワクチンの関連について、国内外でこれまで調査が行われておりますが、ワクチン接種との関連性は明らかにされておらず、ワクチンの安全性について特段の懸念は認められないとしております。

②HPVワクチンの接種後に生じた症状については、患者により身近な地域において適切な診療を提供するため、県が協力医療機関を選定し、協力医療機関を中心とした診療体制の整備を図っております。また、国は医療機関で診療に従事する医師等に対する定期的な研修会の実施や、研修動画の配信等により、診療体制の強化に努めております。市は市民にとっての身近な相談窓口として相談を受け、国及び県からの情報を基に、市民が必要とする情報を伝え、不安の解消に努めております。

今後も国・県・市町村が情報を共有・連携し、安心できる体制を整備してまいります。

Q5 HPVワクチンの有効性を立証する論文等について

【回答】

令和3年10月1日に開催された第69回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会の資料として、以下の情報提供がありました。

- ・日本における4価HPVワクチンの有効性評価（2011－2016）
- ・日本のHPVワクチン接種事業開始以降の高度子宮頸部病変がある女性におけるHPV16／18型の陽性率
- ・日本における高度異形成病変に対するHPVワクチンの効果についての横断研究
- ・日本における子宮頸部上皮腫瘍に対するHPVワクチンの効果についての症例対象研究

Q6 子宮頸がん検診の受診率を上げるための対応について

【回答】

ワクチン接種の有無にかかわらず、定期的に子宮がん検診を受けることは、子宮頸がんの早期発見のために重要であると認識しております。

子宮頸がん検診は、国の指針に基づき20歳から受診することができます。本市においても、国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」により、20歳の方を対象にクーポンを使用した無料検診を実施し、若い世代の方へがん検診の重要性を地区活動等で周知する等、早期からの受診促進を図っております。

さらに現在、国は、子宮頸がん検診にHPV検査を導入することを検討しており、検診精度の向上及び受診者の負担軽減等により、受診率を向上させる取組を進めて

おります。市としても、国等の動向を注視し、受診率向上のための対応を継続してまいります。

Q7 副反応の症状への治療方法について

【回答】

副反応の症状は一人一人同じではないことから、様々な症状に応じた治療を協力医療機関等で行っております。

国の審議会では、HPVワクチン接種後に生じた多様な症状とHPVワクチンとの因果関係を示唆するエビデンスは報告されていないとしていることから、本市としては、今後も国等の最新の情報を収集し、必要時、市民の皆様に適切にお知らせしてまいります。

Q8 接種対象者への情報提供について

【回答】

予防接種法第23条において国等の責務として、国民が正しい理解の下に予防接種を受けるよう、予防接種に関する啓発及び知識の普及を図るとされており、市としては、他の予防接種と同様に希望する方が安心して接種を行えるよう、医療機関に十分な説明を行うことをお願いするとともに、国が示す情報の提供を行ってまいります。

別添 表

	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
対象者 数※1	1,416	1,416	1,539	1,494	1,575	1,455	1,338	1,254
接種件 数	4,283	1,649	305	5	0	0	0	9
サーバリ ックス	3,751	706	51	0	0	0	0	0
ガーダ シル	532	943	254	5	0	0	0	9
シルガ ード9								
副反応疑い 報告件数	0	0	0	0	0	0	0	0

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
対象者 数※1	1,416	1,347	1,527	1,497	7月実施 分まで
接種件 数	5	228	313	869	288
サーバリ ックス	0	3	0	6	1
ガーダ シル	5	225	313	875	84
シルガ ード9					203
副反応疑い 報告件数	0	0	0	0	0

※1 対象者数=13歳女子の人口(10月1日現在)×3(国への報告と同様に換算)